



広報おげと
KETO

2019

11



ふたつの秋田、心ひとつに

11/3 町民文化祭・町文化連盟文化賞表彰式



豊年種まき踊り保存会、親子3世代の出演者も



置戸吟詠会



置戸大正琴同好会、初参加



文化賞を授賞された俳句結社峡炎吟社(代表:貴田岡秀さん)、置戸獅子舞保存会会長の片岡祐土さん、置戸吟詠会師範の河村静さん

10/19 置戸中学校学校祭



集大成の演劇、3年生の熱演

10/26 こどもセンターどんぐり発表会



練習の成果を発揮、元気な子どもたち

ひとまち おけと

11/4 OGF白花豆プロジェクト「にお積み」



メンバーや地域の方21人が参加し、竹竿をはずして豆を積み上げる「にお積み」作業を行った



明治安田生命との災害時物資供給協定を締結

10月11日、明治安田生命保険相互会社釧路支社の落合一美同支社長らが役場庁舎を訪れ、井上久男町長と災害時の応急生活物資供給等に関する協定書を取り交わしました。この協定は地震、風水害などの災害時において、飲料水とタオルを提供するもの。落合同支社長は「地域の方の生活の安心と健康を見守り、支援していきたい」と話しています。



森林ウォーク、秋の風穴を楽しむ

町観光協会主催の森林ウォークが、10月12日に開催され、春日地区の道有林中山にある風穴を散策しました。幼児から大人まで町内外38人の親子連れやグループが参加。NPO法人常呂川自然学校の羽根石晃彦さんがガイドになり、道中で小川のせせらぎを竹筒で聞き、色づく樹々を観察。神秘的なコケの群生、大きな岩が重なり合う、がれ場などさまざまな風穴の景観を満喫しました。



ふるさとの森づくり学ぶ、置中1年林業体験

晴天の下、置戸中学校1年生16人が、10月25日、川南の民有林で置戸町林業グループ主催の林業体験を行いました。生徒は、植樹方法の説明を受けた後、林業グループと一緒に鋤をふるい、1人1列ずつ分担し、約2時間で約950本のトウヒの苗木を植えました。鋤を使うのも初めての生徒たちは、植樹の大変さを通して、森づくりの役割と大切さを学びました。



どま工房で木工ワークショップを開催

10月12日から開催中の企画展「美しさの理由―意匠と形状に込められた思い―」（今月24日まで）にちなんだワークショップが、10月27日、どま工房で開かれました。今回の内容は、ふたに組み子を仕込んだ四寸小箱を作るというもの。参加者は、那珂琴絵研究員の指導の下、のみやカッターを使って、細い棒状のマツ材に溝を削り、組み子に挑戦。木工の楽しさと難しさを体験しました。

第6次置戸町総合計画の策定状況をお知らせします

■まちづくりの基本となる「第6次総合計画」

第6次置戸町総合計画は、まちづくりにおける最上位計画として、置戸町まちづくり基本条例第25条に基づき策定される初めての総合計画となります。

この計画は「置戸町民憲章」を基本理念として、置戸町まちづくり基本条例と相互に連携した町政運営の基本となる計画であり、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や各分野で個別に策定される計画と整合性を図っていきます。

■住民参加と組織体制について

計画の策定にあたっては、住民参加のほか役場職員による検討や協議を行っています。

総合計画策定審議会は、10人の委員で構成され、昨年6月に第1回審議会を開催し、現在までに14回の審議会を開催しています。審議会では、アンケート結果や懇談会での意見を参考に、現状と課題を整理・確認したうえで、活発な審議を行っています。

置戸町総合計画審議会委員（敬称略）

会長：小野垣裕樹 副会長：井上 幸恵

遠藤 智子・遠藤 弘文・大槻由紀江・佐藤めぐみ
辻 芳一・西岡真由子・本田 直・松崎 真也

総合計画策定幹事会は、副町長、教育長、役場課長職で構成され、計画の方向性や内容について協議・検討を行っています。

総合計画策定作業部会は、役場課長補佐、係長職で構成され、産業振興、社会福祉、生活環境、教育・文化、行財政の5つの部会に分かれ、実務担当として具体的な事業等の協議を進めています。

■まちづくりを考える取り組みについて

まちづくりに対する意見などを集め、計画の資料とするために昨年8月、**町民アンケート**を実施しました。

意見交換の機会として、昨年11月に**各地区地域懇談会**、平成31年2月に**テーマ別懇談会**を実施しました。

まちづくりを考える機会として、平成31年3月、(株)クリエイティブオフィスキュー代表取締役の伊藤亜由美氏を講師に招き、**まちづくりセミナー**を開催し、80人が参加しました。

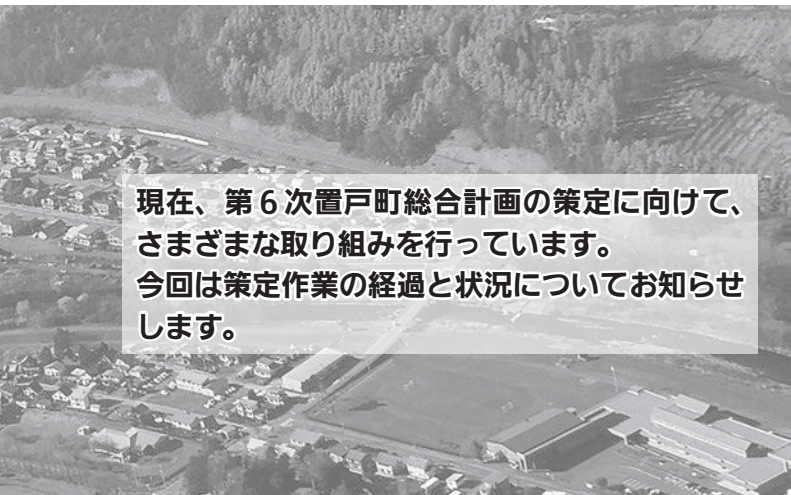


まちづくりセミナー伊藤亜由美氏講演（3月29日、境野公民館）

子どもたちの意見やアイデアを募るため、18人が参加し「**こどもワークショップ**」を開催しました。大人たちが日々感じているさまざまな課題について、同じく子どもたちも感じていることがわかりました。



置戸の良いところをみんなで話し合い、発表（8月24日、中央公民館）



現在、第6次置戸町総合計画の策定に向けて、さまざまな取り組みを行っています。今回は策定作業の経過と状況についてお知らせします。

■計画の構成について

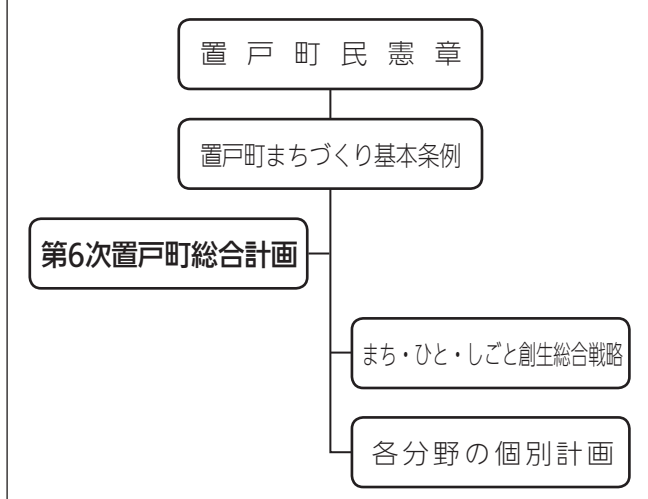
この計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。

基本構想は、置戸町の特性や課題を考慮し、めざす将来像と、その実現に向けたまちづくりの方向を示したものです。期間は、令和2年度から10年間です。

次に**基本計画**は、基本構想に定めた将来像の実現に向けて、進めるべき具体的な施策の方向を定めています。期間は、令和2年度からの5か年を「実行計画」とし、令和7年度からの5か年を「展望計画」と位置づけ、計画の進行管理や社会経済情勢などの変化に対応するため、前期5か年の終了年に計画全体の見直しを行います。

最後に**実施計画**は、基本計画に基づき、3年間で具体的に実施する事業内容や財源を定めたもので、毎年度の進捗状況や評価・検証を行いながら計画を見直し、推進していきます。

<第6次置戸町総合計画体系図>



■計画の基本構想について

1、置戸町のめざす姿について

人口推計の結果（詳しくは6月広報掲載）や、掘り起こされた現状と課題から審議してきた内容を踏まえ、置戸町のめざす姿（将来像）を次のとおりとしました。

町民一人ひとりがまちに愛着を持ち、ともに新しいことへ挑戦することでまちの魅力を作り出すとともに、あらゆる世代の人が笑顔で健康に活躍できる置戸町を築きます。

2、柱となる5つの基本政策について

あるべきまちの姿を実現するため、5つの基本目標を柱としてまちづくりを進めていきます。

○健康で安心して暮らせるまちづくり （保健・医療・福祉・子育て分野）

- ・在宅生活支援等の推進や医療・介護・住民などの連携と地域で支え合うまちづくり
- ・高齢化が進み施設ニーズが高まる一方、建設から30年以上が経過し、生活様式の変化に対応した特別養護老人ホームの整備
- ・認定こども園や児童センター施設の機能充実を図り、多様化するニーズに対応する子育て環境づくり
- ・地域ぐるみの福祉を推進し、住み慣れた地域で生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
- ・町内医療機関について、将来にわたって安定した地域医療が提供されるよう施設や機器の整備や医療スタッフの充実などへの継続的支援

○にぎわいと活気あふれる産業のまちづくり （産業分野）

- ・法人化に向けた支援や後継者の育成、スマート農業導入に向けた支援等を通じた安定した農業の推進
- ・豊かな森林の景観や機能を維持していくため、計画的な代採や造林を図るとともに、導入された森林環境税を有効に活用した施策を通じた林業振興
- ・地域の魅力を活かした商工業の活性化を図るため、意欲ある人材の育成や新たな人の流れを生み出す取り組み、地域特産品開発の推進

第6次置戸町総合計画の策定状況をお知らせします

- ・おけと勝山温泉ゆうゆを中心とした新たな観光資源開発と整備
- ・オケクラフトの多面的な機能を生かし、町の産業としてさらなる推進を図るとともに、食や林業と連携した取り組みの推進



○ふるさとへの愛着と誇りを育むまちづくり (教育・文化分野)

- ・ライフステージに応じた生涯を通して学べる環境の提供と多様なスポーツに触れる機会の充実
- ・次世代を担う子どもたちに、ふるさと教育の充実により地域への理解と愛着を深める人づくりの推進
- ・小中一貫教育を推進するとともに、まちぐるみで子どもを育てる環境整備の推進
- ・秋岡コレクションや黒曜石などの貴重な郷土資料の有効活用と適切な展示、収蔵場所の整備
- ・教育や産業、オケクラフトと連携し、全町一体となった食のまちづくりの推進



ふるさと教育、秋岡コレクションを学ぶ（9月18日、置戸中学校）

○快適で安全な暮らしを支えるまちづくり (防災・社会基盤・生活環境分野)

- ・地域の防災力や消防力の維持、体制強化の取り組みの推進
- ・道路や橋梁、河川などの計画的かつ効率的な整備、良質な水道水を供給する水源地の確保など安定したライフラインの提供
- ・幅広い住宅ニーズに対応した住宅環境整備の推進
- ・情報通信技術の進展の伴い、情報格差解消に向けた超高速ブロードバンド環境等の整備
- ・時代に合わせた効果的・効率的なまちの情報発信手段の充実

○未来に向けた持続可能なまちづくり (コミュニティ・協働・行財政分野)

- ・住民同士が助け合いや支えあう地域活動に対する支援
- ・移住・定住の受け入れ体制を整備し、地域と多様な関わりを持って地域づくりに参画する「関係人口」の創出
- ・多様な意見やアイデアを持つ町民が、手を上げやすい環境の醸成と町民の意見が地域づくりに反映される仕組みの構築
- ・公共交通機関である路線バスへの支援や地域巡回バスの効率的な運行
- ・ふるさと銀河線跡地など、町有地の有効活用と公共施設の効率的活用

■基本計画について

5つの基本目標の実現に向けて、26の施策に分類し、審議会等において、それぞれの具体的な施策の方向性を定めるための審議を行っています。

今回掲載している内容を踏まえ、審議会において町への答申に向けた協議を行っています。

■お問い合わせ まちづくり推進室地域振興係（☎52-3312）



財政状況	平成30年度	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成30年度決算に基づいて算定した健全化判断比率及び資金不足比率をお知らせします。 置戸町の財政は健全な段階にあると言えますが、財政状況が厳しいことに変わりはなく、今後も財政健全化への取り組みを続けていきます。			
	健全化判断比率				
	資金不足比率				
	を公表します				

財政健全化判断比率

健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）は、いずれも早期健全化基準、財政再生基準を下回りました。

指 標	内 容	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	一般会計の赤字の割合	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別会計も含めた全会計の赤字の割合	—	20.0%	30.0%
実 質 公 債 費 比 率	年間の借金返済額などの負担割合	7.1%	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率	現時点で将来に負担が見込まれる借金の割合	—	350.0%	

※実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」で表示します。

資金不足比率

各公営企業における資金不足比率は、資金不足を生じた公営企業がないため、経営健全化基準に該当しませんでした。

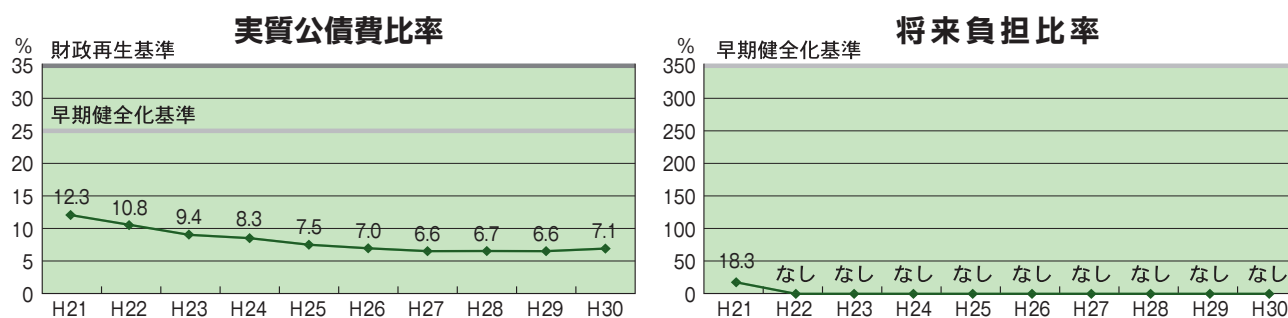
	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道特別会計	—	20.0%
下水道特別会計	—	20.0%

※資金不足額がない場合は、「—」で表示します。

これらの比率が一定の基準を超えると「早期健全化団体」さらには「財政再生団体」へ移行することになり、地方債の借入れや予算編成の制限など国の関与を受けることになります。

比率の推移 平成21年度～平成30年度

実質公債費比率は7.1%で、前年度対比0.5ポイントの増加となりました。主要要因としては元利償還金等の増加などがあげられます。



キーワード

- 健全化判断比率**…実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標
- 早期健全化団体**…健全化判断比率のうち1つでも早期健全化基準を上回る団体
- 財政再生団体**…健全化判断比率（将来負担率を除く）のうち1つでも財政再生基準を上回る団体
- 資金不足比率**…公営企業会計の料金収入に占める赤字の割合

令和元年度上半期予算執行状況をお知らせします

令和元年度上半期（4月1日から9月30日まで）の収入と支出の執行状況をお知らせします。

※歳出の支出済額には支出を終えたものを掲載していますので、現在、進行中の事業は含まれていません。



一般会計歳入歳出の状況

〈歳入〉

区 分	予算現額	収入済額	執行率
町税	2億8,792万円	1億8,007万円	62.5%
地方譲与税	7,874万円	2,468万円	31.3%
地方交付税	23億5,882万円	17億1,668万円	72.8%
分担金及び負担金	4,965万円	2,060万円	41.5%
国庫・道支出金	5億4,786万円	8,153万円	14.9%
町債	3億2,400万円	0万円	0.0%
諸収入	1億6,652万円	2,041万円	12.3%
その他	8億1,063万円	1億4,215万円	17.5%
合 計	46億2,414万円	21億8,612万円	47.3%

町税の内訳

税 目	予算現額	収入済額
町民税	1億2,641万円	5,688万円
固定資産税	1億3,360万円	1億392万円
軽自動車税	971万円	942万円
町たばこ税	1,290万円	681万円
入湯税	530万円	304万円
合 計	2億8,792万円	1億8,007万円

〈歳出〉

区 分	予算現額	収入済額	執行率
総務費	3億1,661万円	1億2,314万円	38.9%
民生費	9億4,678万円	4億3,838万円	46.3%
衛生費	4億212万円	8,803万円	21.9%
農林水産業費	4億6,613万円	1億3,123万円	28.2%
土木費	5億4,410万円	9,573万円	17.6%
消防費	1億9,298万円	1億1,211万円	58.1%
教育費	4億9,138万円	1億8,232万円	37.1%
公債費	5億2,510万円	2億6,218万円	49.9%
給与費	5億9,195万円	2億7,418万円	46.3%
その他	1億4,699万円	7,802万円	53.1%
合 計	46億2,414万円	17億8,532万円	38.6%



一部改修とインターロッキング
洗浄を行った中央公民館周辺



おけばんばくんのイラストを
ラッピングした地域巡回バス

特別会計歳入歳出の状況

会 計 区 分	予算現額	歳 入		歳 出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険特別会計	5億160万円	1億7,592万円	35.1%	1億6,666万円	33.2%
後期高齢者医療特別会計	5,600万円	1,434万円	25.6%	1,531万円	27.3%
介護保険事業特別会計	3億6,261万円	1億6,768万円	46.2%	1億3,704万円	37.8%
介護サービス事業特別会計	2,070万円	412万円	19.9%	1,432万円	69.2%
簡易水道特別会計	3億7,180万円	3,185万円	8.6%	1億4,624万円	39.3%
下水道特別会計	2億1,490万円	2,341万円	10.9%	8,890万円	41.4%

防災 のススメ

冬の気候について

次第に朝夕の冷え込みが厳しくなり、冬の到来を感じる季節となりました。冬の気候のポイントを学び、天気予報などの気象情報を防災に有効活用しましょう！

冬型の気圧配置

冬になると、必ずと言っていいほど天気予報では「冬型と気圧配置」という言葉が出てきます。北海道の西側に高気圧、東側に低気圧がある気圧配置であり、「西高東低」となります。主に北西から冷たく強い風が吹くのが特徴で、局地的な大雪をもたらすこともあります。

冬型の気圧配置の前には「発達した低気圧」も

高気圧に先行して発達した低気圧が進むことで、道内に暴風雪や大雪をもたらす場合があります。この時期に関連して「クリスマス寒波」や「年末低気圧」などと呼ばれることがあり、これからの時期は特に注意が必要です。

ひとくちメモ

天気予報を見ていて、天気図で解説される場合がありますよね。そのときは、等圧線をよく見てみてください。北海道に等圧線が5本以上かかっている場合は、風が強くなり、暴風雪になるおそれがあります。

気をつけて欲しい「天気の急変」

冬型の気圧配置の状況では、天気が急に変わりやすくなる不安定な天候になります。特に冬の始まりの時期は、雨から雪に変わり、路面の凍結などで事故の発生の危険性が高まります。夏の天気の急変は、急に雨が降ることを指しますが、冬の天気の急変は、風雪が強まり、最悪の場合には身動きが取れない状態となることがあり、命に危険が生じることも想定されます。

天気予報などの気象情報を十分に確認し、冬はたとえ晴れていても天気の急変には気をつけましょう。



情報メールおけと・ツイッターを活用しましょう



利用登録することで、お持ちの携帯電話やスマートフォンに緊急情報や防災情報をお届けします。メールの受信によって、いち早く情報を入手し安全な行動をとりましょう。

■情報メールおけと登録方法■

①touroku@i.town.oketo.hokkaido.jpに空メールを送信します。

②送信後、数分以内に登録用URLが記載されたメールが届きます。

メール内容の確認をした後、配信カテゴリを選択し、【メール配信登録】をクリックしてください。

③登録が完了した後、数分以内に登録完了のお知らせメールが届き、手続きは終了です。

■ツイッターについて■

置戸町防災公式アカウントです。情報発信を目的としていることから、当アカウントへの投稿に対して個別の対応は行いませんのでご了承ください。

アカウント名 置戸防災 (@oketobousai)



情報メール登録用
QRコード

■お問合せ 総務課防災係 (☎52-3311)

ふるさとに思いを寄せて

札幌おけと会 総会・懇親会

札幌おけと会のつどい

札幌圏に在住する置戸町出身の方々などで組織された「札幌おけと会」（上原勇会長）の令和元年度総会・懇親会が10月26日、札幌市内のTKPガーデンシティで開かれました。総会には会員のほか町から井上町長や岩藤議長など総勢53人が参加し、ふるさと談義に花を咲かせながら旧交を温め合いました。

2年ぶりの開催となった札幌おけと会の集い。開会前には後藤幸恵さんのフルート演奏が披露され、総会では上原会長の挨拶に始まり、事業計画などの議案審議は原案どおり可決されました。

続く懇親会は、山本勲置戸タイムス取締役社長の乾杯の音頭で始まり、各テーブルでは、近況や故郷の話題で親睦を深めました。恒例のオケクラフトなど町の特産品が当たる福引抽選会が行われ、会場を盛り上げました。



加入の呼びかけを

ご家族や友人などで札幌圏に転出された方に、ぜひ加入を呼びかけてください。

置戸町ふるさと運動推進協議会事務局

（まちづくり推進室地域情報係 ☎52-3312）

井上優奈さん、高円宮杯英語弁論大会全国大会へ

置戸中3年の井上優奈さんが、9月28日、旭川市で開催された高円宮杯第71回英語弁論大会、北海道地区予選大会道北大会で、最優秀賞を受賞しました。井上さんは今月28日、東京都内で開かれる全国大会決勝予選大会へ出場します。

大会では「地震と共に生きていくには」と題し、修学旅行で学んだ震災学習や1日防災学校の経験で感じたことを発表。井上さんは「道北大会では、自分の名前が呼ばれた時、本当に自分のことかとびっくりしました。全国大会では入賞したい」と話しています。石原邦彦同校長は「全国大会を楽しみ、良い経験をしてほしい」とエールを送っています。



11月3日、町民文化祭で英語のスピーチを披露する井上優奈さん

このまちで暮す人、団体を紹介します。

#おけと生活

おぎ のほる
小木 昇さん（秋田）

今回は、10月20日、秋田地区で開催された第31回置戸エンデューロ主催者の小木昇さんを紹介します。

■オフロードモータースポーツの魅力

置戸エンデューロは、山の斜面など起伏にとんだ小木牧場特設コースをモーターバイクで疾走する個人主催のレース。見せ場は3時間耐久レースのコースにあるヌタ場と呼ばれるぬかみの湿地帯。エンジン音を響かせて泥だらけのライダーが、果敢にコースに挑む姿を観客も楽



3時間耐久レース、ヌタ場を走るライダーと観客

しむことができます。ときにはぬかるみにバイクがはまってしまう場面も。すかさず地元スタッフがスコップ片手に脱出を手助けし、ライダーをレースに復帰させます。

■これからもレースで走り続けたい

小木さんは35歳からバイク仲間とともに置戸エンデューロを開催し、今年で31回目。晴天の下、道内外のライダー110人が参加しました。主催者であり、現役のライダーでもある小木さんは「全道や地元のバイク仲間の協力と自分がバイクに乗りたからレースを続けています」と笑顔で話してくれました。

今年で66歳の小木さん。参加者である同年齢のライダーと意気投合し、来年もレースでの再会を誓い合いました。



レース後の愛車と小木昇さん

わが家の アイドル



齊藤

齊藤 陽英さん・貴木さんのお子さん

こはる

木陽ちゃん

●5歳2カ月

●新光

キュアコスモになりたい!

お誕生日プレゼントにももらった、映画「トイ・ストーリー」のお人形やりかちゃん人形で、お父さんと一緒に遊ぶのが大好きな木陽ちゃん。自宅では、お人形遊びやレゴブロックがお気に入りです。好きな食べ物は、お母さんお手製のクッキー、バームクーヘン、チョコバナナなど甘いものが大好き。最近楽しかったことは、夏休みに家族で札幌へ出かけ、ガトーキングダムの大きなプールにあるロールケーキの滑り台で遊んだこと。

将来の夢は、スター☆トゥインクルプリキュアのキュアコスモ。そんな木陽ちゃんのことをお母さんは「人にやさしく、健康に育ってほしいです」と、愛娘の成長を温かく見守っています。

あゝ頃

— 写真で語る
おけと —

郷土資料から置戸の歴史や人々の
生活を語る写真を紹介していきます。



人々が集い楽しんだ、町内
唯一の劇場「置戸座」

テレビもインターネットもない時代。戦時中から戦後にかけて、劇場で芝居や巡回映画を観ることが、人々にとって娯楽でした。町内唯一の劇場である「置戸座」は、大正時代から戦後にかけて賑わった人気施設だったそうです。当時は大きな会場もなかったことから、人が集まる集会施設としても利用されました。当時を知る人の証言を抜粋して紹介します。「ドサまわりの劇団や浪曲、芝居などが来ると、一股（勝山）など遠い所からも来て、親せきや知人の家を宿にして見に来るのです。劇場は階下正面が舞台で、向かって左手に花道があり、真中と両サイドが畳敷きで、詰めれば2階も含めて500人は座れたでしょう。2階はコの字型になっており、2〜3段に仕切り、見やすいようにしてありました。（中略）炭火が唯一の暖房です。5、6人に1人くらいの割合で火鉢を買い求め、売店からスルメなどを買って焼き、持ち込んできた酒類を飲みながら芝居を楽しんでいました」

今回の写真は、昭和30年代、青年演芸大会の様子と外観です。現在、置戸座の跡は、消防署となっています。（参考…置戸町史上巻）

喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出生おめでとうございます

○中澤光太郎 寿恵 女児 実椰（みや） 豊住 10/10

○新保 翔平 文音 女児 陽菜（ひな） 心和 10/24

■お悔やみ申し上げます

○薄田 哲夫 82歳 栄第一 9/30

○山川 裕譽 82歳 境野中央 10/2

○佐々木 章子 69歳 若木 10/7

○森谷 ヨシ子 85歳 豊住 10/11

○大友 百合子 86歳 本町 10/15

○瀬戸 フヨ 93歳 境野親交 10/15

○西家 篤太郎 86歳 若松 10/25

○斉藤 満 84歳 西町 11/1

編集後記

☆カラマツの紅葉が終わると、長く厳しい冬の到来。辛い除雪も運動だと思って乗り切りたいと思います。流雪溝は投雪時間を守り、車に気をつけて安全に使いましょう！がんばりすぎにも注意です。㊦

人の動き

●世帯数 1,428世帯（－6世帯）

●人 □ 2,845人（－11人）

●男1,326人（－6人）女1,519人（－5人）

令和元年10月31日現在（ ）内は9月末比

■今月号の表紙：10月20日、秋田地区住民センターで秋田地区老人クラブ長寿会60周年記念公演が開催されました。秋田民謡小田島会の秋田民謡に合わせ、秋田音頭愛好会が踊りを披露し、二つの秋田が交流を深めました。